



すべてに^{やさ}優しく

いつまでも^{ゆとり}悠ある

やすらぎの^{ばしよ}邑を実現します



2021

春^号

vol.92

「今日も楽しかった」と
言っていただけのように...

令和3年度指針

社会福祉法人杉和会 理事長 若山 宏

杉和会がその当時の岐阜県知事から法人認可を頂いたのが平成9年7月17日。その翌年の5月に本館の事業開始して平成16年4月には新館が、平成26年4月には大垣市に優・悠・邑 和合が新設され、本年度4月1日からは垂井町にある西南濃老人福祉施設事務組合から事業を譲り受け、養護老人ホームの入居者さんのお世話からのスタートを切る事になりました。新設される盲養護老人ホーム『優・悠・邑 和（なごみ）』の正式な事業開始は5月21日竣工式典は5月16日です。岐阜県の視覚障害者の方々の期待を身にお受けしてのスタートを切る運びとなりました。杉和会がこのような展開をさせて頂けるのは地域の方からの温かいご支援と職員が一丸になつての頑張りがあったればこそと考えています。このような展開の新年度のスタートに際し今年度の杉和会が目指すものを以下に述べさせていただきます。

昨年度は文字通り「コロナに怯えながらも感染症対策に心血を注いだ一年でした。私は常に福を転じて福と為す」をモットーにした展開をしてきたのでこの「コロナから学んだ事を生かして行きたいと考えています。先ずは「コロナ感染症対策では『手洗・消毒の徹底』『三密を避ける』『だったのですが、結果としてインフルエンザ等の疾患が激減しています』、多くの方が集まるこの会議が無くなったことにより、リモートによる会議や研修となり、移動時間が必要無くなった事による、業務の省力化が出来、回数や時間を増やす事が出来て充実した内容になったと思つています。研修については参加しやすくなり参加者が増加し経費の削減にも繋がっています。当法人も3拠点になった事を受け「コロナ対策から学んだものを生かしながら、より一層地域の方から親しみと信頼を持って頂けるように職員一同邁進していきますのでより一層のご支援とご理解を宜しくお願い致します。

関ヶ原指針

特別養護老人ホーム優・悠・邑
デイサービスセンターえりかの里

総合施設長 若山 宏

昨年度は「コロナ対策の充実の為に色々な配慮をしながらも未だ終息には至っていませんので、引き続き入居者さん、利用者さん、そしてその家族の方にもご不便をかけながらもご理解願つての日々です。ボランティアの導入ががかわない中においても職員が一丸となって創意工夫の日々を過ごしています。そんな中でフロア毎のイベントを多く企画する事によって入居者さん、利用者さんとの距離を近くこの企画が出来てきたように思えます。また、この様な時だからこそ個別ケアのより一層の充実をしなければとも考えています。その為には一人ひとりの職員の気付きの充実を図つていかなければいけないので、多種多様な研修をリモートによ



り開催していきたいです。また、家族等の面会が自由な形で出来ない中において、入居者さん、利用者さんの情報提供の充実を図っていく予定です。また、入居条件が基本的には要介護3以上になったことにより、大介護の充実と共に認知症や看取り対応についても専門性を持った対応が必要不可欠な状況にあります。そんな中で業務の省力化も図りつつの展開が求められているので、ハード面の充実によりクリアしていかなければいけない事は是は是、非は非で職員の意見も取り入れながら展開していきたいと考えています。何と言っても当施設では「今日一日楽しかったよ」です。どんな状況においてもその事を職員一同が忘れる事無く実践出来るように頑張りますので、益々のご理解を宜しくお願いいたします。

身体拘束検討委員会

委員長 北島 賢治

身体拘束廃止を実現するため、法人のビジョンに沿い、以下の活動に取り組みます。

- ①入居者・利用者様に寄り添いながら、自主的に身体拘束につながる問題を解決できる職員の育成。
- ②身体拘束廃止の雰囲気作りのため、普段から行動を束縛しない声かけが出来るようになるための研修の開催。

リスク検討委員会

委員長 吉田 篤

介護していく上で、事故につながるようなふいとした所作などを見つけた際、いかにその時点で色々な手立てを考えていくかが大きな事故につながるにいたくは大切です。昨年、引き続き気づきを増やしているけようにしていくとともに、その手立ての数を各職員が増やしていけるよう危険予知訓練などを行いたいと考えています。

また昨今介護業界でも言われているICTの中には、離床センサーや睡眠状況を把握するロケットなど様々な事故を予防する機器も生まれてきています。これからの介護のためにもしっかりと知識を得て、導入により事故防止につなげられるような機器の導入についても検討していきます。

褥瘡対策委員会

委員長 小林 彩乃

褥瘡委員会の、番大きな目標はとにかく褥瘡を創らない事です。3ヶ月ごとにケアプランに合わせて身体状態の評価を行っています。前年度は、褥瘡対策の一つとしてポジショニングを力を入れてきました。この職員も、ポジショニングは意識的に行えるようになってきています。今後も継続し、入居者様の安楽な姿勢を考えながら、褥瘡のできない丁寧なケアをできるように取り組んでいきます。

感染症対策委員会

委員長 河島 玲子

今般のコロナ感染予防の為に施設内で様々な取り組みを行い、予防策の見直しや見落としのチェックができたことは幸いでもあります。今回の教訓をいかし、今年度も油断することなく、「コロナを始めた」とする感染症予防に努めてまいります。4月から始まる予防接種に対しては、入所者様の健康に留意し円滑に導入できる様心がけていきます。

職員一同の健康維持がまずは第に課題です。2021年度も皆そろって元気に過ごせるような体制作りには心がけてまいります。

食事委員会

委員長 村瀬 智美

今年度の指針は、「食事中の雰囲気を楽しく、かつ安全に食事をしていただく」です。

月1回のバイキング料理の実施はもちろんのこと、普段の食事では食事姿勢にも目を配り、声かけなどを通して安全で楽しい雰囲気づくりをしています。また嗜好調査を通して入居者様の嗜好を把握し、献立に反映していきます。芋煮会や餅つきなどのイベントも行い、食を通して楽しい思い出を作つていただくよう尽力していきます。

排泄委員会

委員長 伊藤 岳彦

的確なオムツの選択・使用の徹底を図り、羞恥心に配慮したケアを実施することにより、入居者様の快適な生活を旨とするともに、経費の削減に努めていきます。また、水分摂取やフットケアによる排泄ケアにも厪力をかけていきます。

入浴委員会

委員長 堀江 忠史

今年度の目標は季節に合わせた入浴の提供と日々の入浴での「コミュニケーション」を大切にしていくことです。日々の疲れを癒してもらえる様に職員もゆとりを持って介助できるように、ゆとり入つて頂けるよう心掛けます。また、月1回の定期点検をしっかり行い、入居者様・利用者様が楽しく安全・安心に入つて頂けるように心掛けていきます。

トランスファ―委員会

委員長 服部 敬充

介護分野では、トランスファ―は移動・移乗のことを指します。間違つた方法や力ずくで動作をすると、介護する人はもちろん、介護を受けるにも大きな負担がかかります。そこでどちらにもやさしい介護、腰痛などの健康障害を起こさない北欧式トランスファ―テクニックを導入しています。介助者の負担を軽減するために、必要に応じて道具も利用します。今年度は全職員が福祉用具を適切に活用できるようにすることを目標に取り組みます。

行事・余暇委員会

委員長 西川 裕子

昨年度は「コロナ禍で夏祭りやクリスマス会など各フロアでの取り組みが中心となりました。今年度は、各フロアのレクリエーションを充実させ、入居者様に楽しい時間を過ごしていただくべく企画を計画していきます。また、毎年楽しみにされている夏祭り・クリスマス会、餅つきなど、季節感のある企画を入居者様、職員と楽しみながら考え、実施していきます。

地域貢献委員会

委員長 谷田 貴都

地域貢献委員会では、「コロナ禍で地域の行事や催しに参加する事が難しい状況にあります。そこで、各委員会と協力して介護の情報の発信をしていきたいと思ひます。今後「コロナの状態にもよりますが、地域の行事が再開される様であれば参加していきたいと思ひます。

入浴委員会

委員長 坪井 寿夫

施設には様々な状態で入浴できるように数種類の浴槽があります。その方に合わせた浴槽はもちろん、その方に合わせた入浴方法を行い、身体を清潔に保つただけでなく、ゆったりとした入浴で心身ともにリフレッシュされる時間を提供できるように、職員の介助技術をばじめ様々なことを改めて見直していきます。

地域貢献委員会

委員長 加藤 容子

新型コロナウイルス感染症の拡大で昨年度は地域の皆さまとの交流の機会を持つことができませんでした。今年度は「コロナ禍においても何かしらの工夫をしながら「健康カフェ等について、地域の皆さまとの交流をしたいと考えています。また災害が発生した際の福祉避難所としての機能を、層強化し、地域の安心・安全に貢献していきます。

行事・余暇委員会

委員長 中村 洸太

今年度の行事・余暇委員会は、前年度に引き続き「コロナ禍の現状において、可能な範囲での余暇行事活動を実施し、利用者様の生活に彩りをもつていただく事を目標に活動します。

また、段階的な緊急事態宣言解除に伴い、今年度より外部ボランティアの一部再開を検討しています。WEB配信を活用した新しい形の余暇活動を考案、実施したいと考えています。

広報委員会

委員長 若山 誠

今年度の広報委員会では、既存のコンテンツでの情報発信を徹底する事と、新規のコンテンツでより充実した情報発信を行つてまいります。具体的な取り組みとしては、ホームページをより見たい情報が見やすい物へリニューアルする事と、ホームページとSNSを連動させたり、動画を活用してより臨場感のあるコンテンツとなる様、委員会でも検討していきます。

和指針

盲養護老人ホーム優・悠・邑和
施設長 吉澤 進治

2021年度の重点的取り組み事項について

特集記事

新型コロナウイルス感染症も既にワクチン接種が始まり、第3波も収束に向かうなど明るい兆しが見え始める一方で、感染力の強い変異種の存在が懸念材料となっています。こうした中で私たちが入居者さん利用者さんが安心して毎日を過ごしていただくよう最善を尽くしてまいります。21年度においても前年度同様に「改革・改善の志と、時代を先取りした「先進」を追求める」に努めます。「杉和会ビジョン2030」に基づきながら「ビジョンに掲げる5本柱に沿つて次のような事業に取り組めます。

- ①サービスの質の向上を図り、「きょう日」楽しかった」を言ってもらえる施設を実現する
- 入居者さんお一人ひとりの個別ケアを一層充実するとともに、認知症研修に多くの職員を参加させて認知症対策の体制」の一層の整備に努めます。
- ②地域づくりの拠点としての役割を果たす
- 新型コロナウイルス感染症の拡大で昨年度は開会を見合わせた「健康カフェ等について、年度後半での開催を目途に取り組んでまいります。また災害時の福祉避難所としての機能の強化も早急に努めてまいります。
- ホームページの見直しを図り、より見やすいものへと改善を進めてまいります。また、利用者の皆さんからの苦情を適切に受け止めて解決するため、昨年度設置した中立的な立場の「第三者委員」の方々と連携を強化してまいります。

和合指針

特別養護老人ホーム優・悠・邑和合
施設長 佐藤 道夫

施設での様々な活動の様子をホームページに毎日更新し数多くのコンテンツの充実を図つていき、職員の内外での研修の取り組みの様子も掲載していきます。広報誌の発行も行い、より多くの写真を取り入れ、活動の様子を見ていただけるように取り組んでいきたいと思ひます。家族送付の写真も施設での様子かわかる内容のコメントをしていただき、「コロナ禍で面会が出来ない中での様子を伝えられるようにしたいと思ひます。

広報委員会

委員長 水野 貴也

研修委員会

委員長 西村 志織

「コロナ禍」中での集団研修は難しく3密(密集・密接・密閉)回避を心掛け、少人数で回数を分けた研修を実施しています。今後はインターネットを使つたウェブでの研修も環境を整えて実施していき、直接的な接触を減らして研修できるように努めていきます。職員一人一人のスキルアップを目指して今後も取り組んでいきます。

防災委員会

委員長 伊藤 仁志

近年、毎年のように全国各地で地震、集中豪雨、台風など多数の災害が起こり、甚大な被害が発生しています。この地域や当施設でも他人事ではなく、来るべき有事の際に、迅速・的確な対応をする。ことが災害による被害を軽減することにつながります。当委員会を中心に、利用者及び職員も含め、人命の保護を最優先とし、同時に施設を守りながら、業務の早期復旧を図れるよう、また、余力がある場合には近隣住民へも協力に当られるように、想定できるあらゆる事態に備えた対策、備蓄を行い、それに伴う訓練や研修を行うなどの活動を行います。

広報委員会

委員長 水野 貴也

和合指針

特別養護老人ホーム優・悠・邑和合
施設長 佐藤 道夫

新型コロナウイルス感染症も既にワクチン接種が始まり、第3波も収束に向かうなど明るい兆しが見え始める一方で、感染力の強い変異種の存在が懸念材料となっています。こうした中で私たちが入居者さん利用者さんが安心して毎日を過ごしていただくよう最善を尽くしてまいります。21年度においても前年度同様に「改革・改善の志と、時代を先取りした「先進」を追求める」に努めます。「杉和会ビジョン2030」に基づきながら「ビジョンに掲げる5本柱に沿つて次のような事業に取り組めます。

- ①サービスの質の向上を図り、「きょう日」楽しかった」を言ってもらえる施設を実現する
- 入居者さんお一人ひとりの個別ケアを一層充実するとともに、認知症研修に多くの職員を参加させて認知症対策の体制」の一層の整備に努めます。
- ②地域づくりの拠点としての役割を果たす
- 新型コロナウイルス感染症の拡大で昨年度は開会を見合わせた「健康カフェ等について、年度後半での開催を目途に取り組んでまいります。また災害時の福祉避難所としての機能の強化も早急に努めてまいります。
- ホームページの見直しを図り、より見やすいものへと改善を進めてまいります。また、利用者の皆さんからの苦情を適切に受け止めて解決するため、昨年度設置した中立的な立場の「第三者委員」の方々と連携を強化してまいります。

食事委員会

委員長 坪井 寿夫

この「コロナ禍」において、今まで過ごしていた楽しさが減少しています。が、そんな中「食事が楽しむ」と答えている方がみえます。いまで以上に食事に對して向き合い、美味しく楽しく安全にいつもでも召し上がつていただけるように、大きなイベントだけでなく日々の食事にも目を向けて、多職種連携で取り組んでいきます。

排泄委員会

委員長 坪井 寿夫

排泄は生きている限りは避けては通れない事ですが、利用されている方には「自身一人では難しい方もお見えになりお手伝いをさせていただきます。すべてのの方にその方にあった時間帯や方法といった排泄ケアを個別に行い、排泄にかかわることでの不快にならないように、快適に過ごして頂けるように取り組んでいきます。

食事委員会

委員長 坪井 寿夫

この「コロナ禍」において、今まで過ごしていた楽しさが減少しています。が、そんな中「食事が楽しむ」と答えている方がみえます。いまで以上に食事に對して向き合い、美味しく楽しく安全にいつもでも召し上がつていただけるように、大きなイベントだけでなく日々の食事にも目を向けて、多職種連携で取り組んでいきます。

もちつき 12月30日

全フロアが1か所に集まることができない為、各フロアで順番にもちつきを行いました。石臼を引っ掛けての大移動です。手を叩きながら「よいしょ!」と元気よく声をかけていただき、フロア内がとてにぎやかに盛り上がりました。



元日 1月1日

「今年こそ、安心して暮らせる日々が取り戻せますように。」皆さんの健康長寿とコロナ禍の終息を願いつつ、おとそを皆さんにふるまいました。はじけるような笑顔で、今年が始まります。



ゆうゆう座 2月22日

職員による春の「ゆうゆう座」が開演されました。セーラー服姿や和服姿での十八番の熱唱に、「本物の演歌歌手みたい!」と大盛り上がり。皆さんも一緒に歌ったり、踊りだす方もみえました。最後にみんなで「明日がある」を大合唱しました。



ひな祭り 3月3日

今年はコロナ禍の為、各フロアでそれぞれにひな祭りを楽しんでいただきました。ホールに飾ってある立派な雛飾りを見に行き、記念撮影をするフロアや、カラオケで「うれしいひなまつり」を熱唱するフロア。おやつは厨房で手作りしていただいたひなクレープに職員がトッピングしてさらに可愛らしく変身です。ショートステイでは、着物を着た職員がお抹茶を点てて、鶯餅と雛あられを召し上がっていただきました。その後はお雛様の衣装で記念写真をパチリ。かわいらしい姿に、本人も周りもとても華やきました。



思い出アルバム

イベント紹介 和合

最近の楽しかった出来事を報告します!

クリスマス 12月21日、22日

いつもはみんな集まって行うクリスマス会も、今年は各フロアごとに行いました。サンタの衣装でカラオケを熱唱したり、ソリに乗って登場し、皆さんにプレゼントを配ったり。職員達の心のこもったクリスマス会を、皆さん、大いに楽しみました。



節分 2月3日

今年の節分は、各フロアごとに行いました。皆さん、新聞紙を丸めた『豆』を鬼に向かって元気よく投げつけました。逃げまどう鬼の姿に大笑いしながら思いきり豆を投げ、コロナ禍で溜め込んだストレス発散になった様です。



もちつき大会 12月29日

今年のもちつき大会は、密を避けるために、4か所でのもちつきを行いました。理事長に火入れをしていただき、蒸しあがったもち米をフロアの方に運び、フロアの職員がつき手となり、入居者・利用者様の「よいしょ、よいしょ」の掛け声に合わせてつきました。例年とは違った形となりましたが、皆様に楽しんでいただきました。



お屠蘇、獅子舞 1月1日

1月1日、元旦。理事長、副施設長が各フロアを周り、お屠蘇、ゆず茶が振舞われました。久しぶりのお酒の振舞いでもあり、1杯、2杯とおかわりされておられました。



職員が扮した獅子舞が出没! 今年1年の無病息災を願い、入居者・利用者様の頭を噛んで各フロアを周りました。

3月バイキング 3月3日



3月バイキングのテーマは「今日は楽しいひな祭り」。ひな祭りといえばちらし寿司。ちらし寿司の上には、かわいいおびなとめびなが飾られて、皆さん「かわいいね」と喜んでみえ、ほかに、はまぐりのお吸い物、刺身の盛り合わせ、フルーツなどなど、たくさんの料理が並びました。皆さんお腹一杯に召し上がっていただき、職員もおだいきさま、おひなさまに変装してひな祭りを楽しんでいただきました。



盲養護老人ホーム優・悠・邑 なごみ 和

9月26日

給食業務委託業者選定プロポーザルが行われ、給食業者選定が行われました。



週に一度、現場事務所の方で打ち合わせを行い、工事の進行状況の確認、変更点などの打ち合わせなど着々と工事の方が進んでいます。

打ち合わせ



今年の冬は雪が降り積もり、現場の方でも積もることがありました。

建物全体の屋根も出来上がり、着々と工事が進んでいます。



完成も近づいています。



岐阜県唯一 **【新設】** 盲養護老人ホーム優・悠・邑 なごみ 和

垂井町に2021年5月21日事業開始

5月16日竣工式・5月18・19日内覧会

えいがの里コーナー

色々なことを制限される中
毎日、楽しい時間を
過ごしてもらいました



今日も一日楽しかったよゴーランド



今年も元旦から利用者様へ年賀状をお渡しさせてもらい、職員お手製のモグラ叩き、多くの利用者様に手伝ってもらい完成した紙芝居などを楽しんでいただきました。



職員は、元消防署長の運転の方に少人数で避難訓練を講義形成で行ってもらいました。たくさんの利用者様が入浴してみえる際に火災が起きてしまった場合などなど



トランスファァー研修・誤嚥対策研修

トランスファァー研修が行われ、移動・移乗方法を学びました。また誤嚥対策研修会も行われ誤嚥時の対処方法を研修していただきました。



夜勤者健康診断

1月18日

ぎふ総合検診センターの職員が来られ、夜勤従業員を対象とした健診が行われました。



100歳お祝い

2月25日

市町村より100歳のお祝いに来ていただき、少ない人数での訪問となりましたが、ご家族様にもご参加いただき、一緒にお祝いしていただきました。おめでとうございます。



理事会・評議員会

3月18日理事会・3月28日評議員会が開催され、法人の運営についてご討議いただきました。

研修に行ってきました

- 1月28日 岐阜県福祉の仕事合同研修会・交流会
……………(オンライン)3名
- 2月16日 岐阜県地域外国人材受入れ・定着事業モデル事業説明会
……………(オンライン)1名
- 2月18日 令和2年度福祉施設等におけるBCP策定支援発展研修会
……………(オンライン)1名

【詳しくはHPをご覧ください。感想などを読んでいただけます。】

寄附・寄贈品

- ◆萩原すみ子様ご家族
- ◆桐山きしる様ご家族
- ◆五明美佐尾様ご家族
- ◆滝本勇様ご家族
- ◆三田村久子様ご家族
- ◆河合レイ様ご家族
- ◆三輪様
- ◆前野様
- ◆河合様

ありがとうございます。順不同
大切に使用させていただきます。



簡易陰圧装置

令和2年度岐阜県地域密着型サービス等整備助成事業費等補助金を交付して頂き、簡易陰圧装置を間仕切りした静養室に設置させて頂きました。簡易陰圧装置を設置することで、屋内の空気を清浄して屋外に排気する事が出来、静養室内の感染症対策がより強力になりました。



施設内研修

今年度は月に1回テーマを決めて全職員参加の全体研修を年間通して実施してきました。12月は「バランスの取れた食生活」をテーマに、大垣市保健センターの方に講義をして頂きました。1月は「感染症対策」をテーマに、全国老人福祉施設協議会制作の新型コロナウイルス感染症発生時ノウハウ動画集を視聴しました。2月は施設看護師による「看取り」をテーマにした講義とグループワークを実施しました。



手作り干支

100歳を迎えられた利用者様に、大垣市長よりお祝いが届きました。緊張された様子でお祝いを受け取られ、フロアの皆様から「おめでとう！すごいね！お元氣だね！」とお祝いの言葉をかけられると満面の笑みでいらっしました。



ご家族様より、今年の干支である丑を手作りされたものを寄贈して頂きました。頂いた丑は事務所の受付にて来苑された方に見て頂いています。非常に可愛い丑に、小さなお子様が出来た際には特に喜ばれています。



間仕切り工事

令和2年度岐阜県高齢者施設等防災・減災対策等補助金を交付して頂き、新型コロナウイルス感染症も含めた感染症対策として、各フロアの静養室とスタッフルームの間に間仕切りとなるドアの設置をさせて頂きました。



6月
水無月
みなづき
供養祭

施設にご縁があり、逝去された皆様の安らかな眠りを願う供養祭が行われます。昨年の供養祭はコロナウイルスの影響で、リモートでの供養祭となりましたが、今年は少しでも参加していただけるように、感染が落ち着いていることを願っています。



桜が満開のころに合わせて施設の方でもお花見を行います。甘酒やおしるこの提供を行ったり、カラオケで歌を歌ったりと楽しんでいただいています。桜を眺めながら、暖かい春を感じていただけるのでは。



4月
卯月
うづき
お花見

毎月の定期的な行事・イベント

関ヶ原

毎月1回	バイキング料理	毎月2回	フットマッサージ	毎月1回	理髪
毎月2回	理美容	毎週月曜日	和紙ちぎり絵	第4水曜日	三味線ボランティア
第1木曜日	嬉しがり屋・行時&千代和	毎週1回	マッサージ	第2月曜日	てるてる座カラオケボランティア
第2火曜日	コーラス詩音	第2木曜日	関ヶ原日赤奉仕団	第2・第4木曜日	ピアノ演奏会
第3金曜日	花本さん・山本さんカラオケデュオ	第3土曜日	岡本&亀山カラオケボランティア	第4月曜日	認知症カフェ邑

※月によっては、日時が変更になる場合もありますので、職員におたずねください。
このほかにも随時、ボランティア活動が行われます。

和合

毎週1回	選択食の日	第5金曜日	日舞ボランティア	第3火曜日	嬉しがり屋・行時&千代和
2月・6月・10月の第3水曜日	三味線ボランティア	奇数月の第4月曜日	てるてる座カラオケボランティア	偶数月の第3月曜日	カラオケ・デュオ
毎月2回	理美容	毎月1回	ピアノコンサート	7月・10月・12月	小野幼稚園
不定期	大正琴ボランティア	年1回	和合老人クラブ寿会	不定期	マッチャンマジックショー
		毎月2回	マッサージ		

※月によっては、日時が変更になる場合もありますので、職員におたずねください。
このほかにも随時、ボランティア活動が行われます。

編集後記

冬の寒さが厳しく、雪化粧が近年より多く見られる日々となりました。施設の周りにはふきのとうやつくしが出来て春の訪れも少しずつ近づいています。新年度の始まりと共に、盲養護老人ホームの事業も開始されます。各職員協力し合い、利用者・入居者様に「今日も楽しかった」と言っていただけるように、様々な企画を行い日々の業務に取り組んでいきます。